



新型コロナウイルスワクチンに関するアンケート結果(概要版)

1 目的

新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されている。

このことから、本市では市民の皆様の健康を守るため、更なる接種率の向上を目指し、ワクチン接種に関するアンケートを実施したものの。

2 対象者

10月15日現在で、1回目のワクチンを接種していない12歳以上の市民
約3万世帯(29,312世帯)に接種勧奨兼アンケート依頼ハガキ送付

3 回答方法

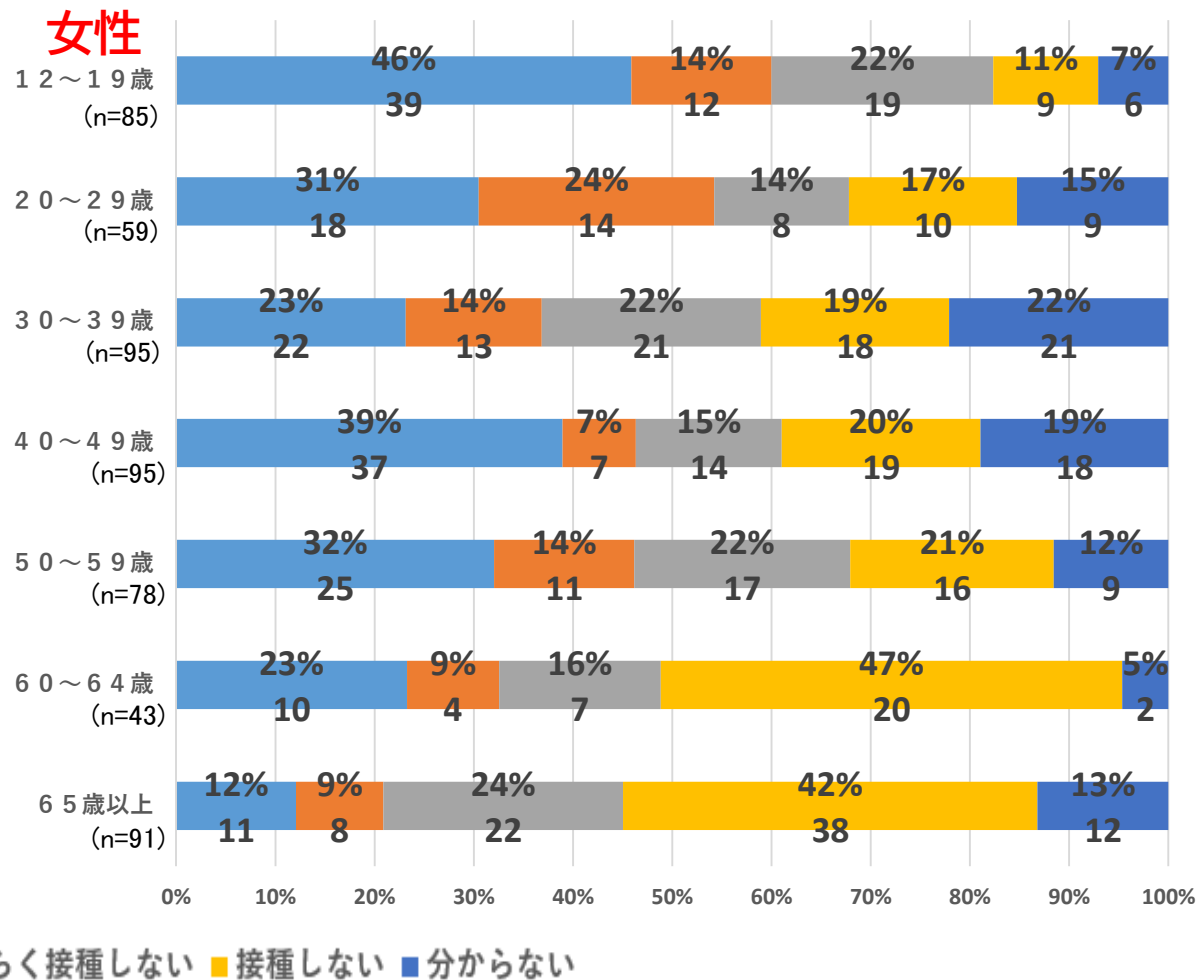
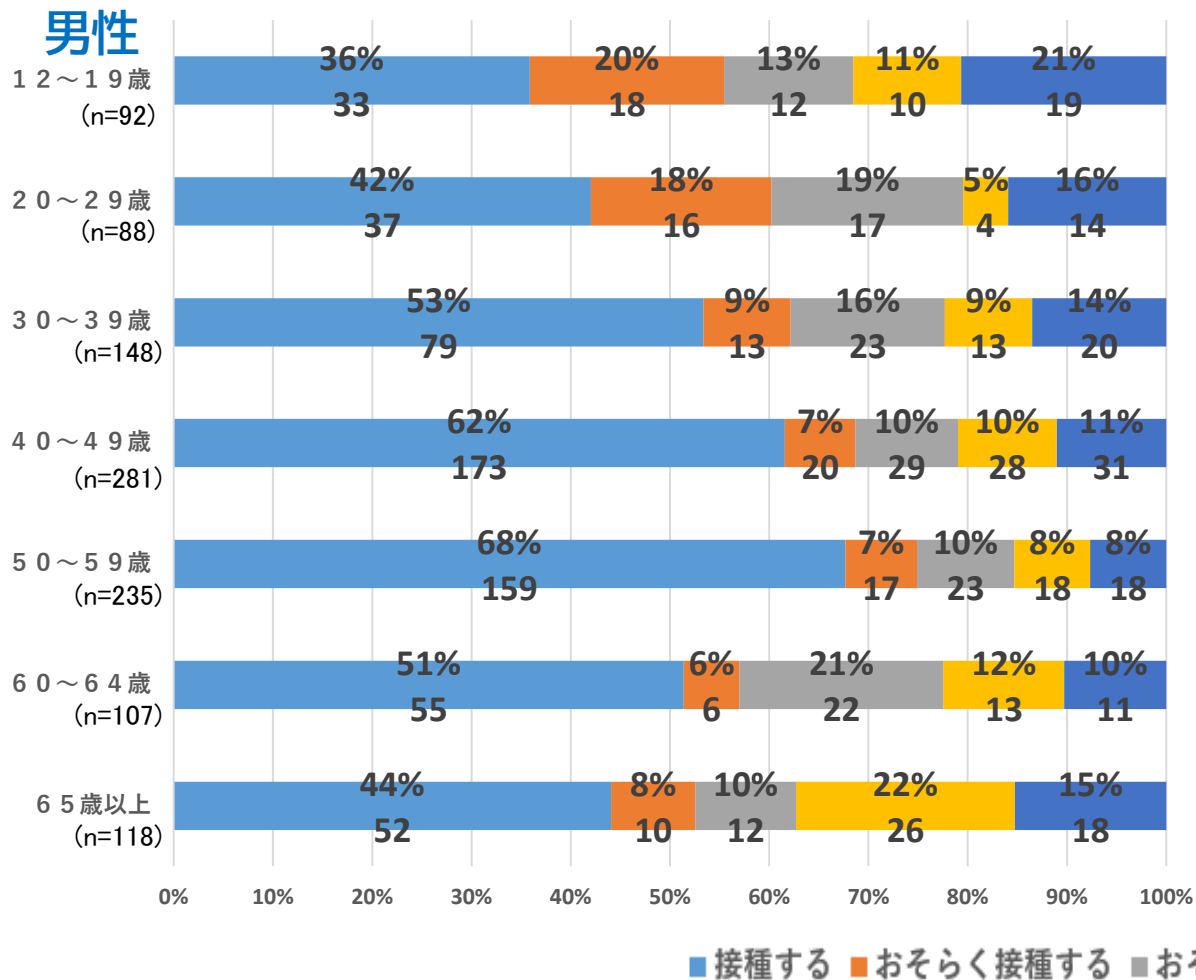
インターネット(24時間受付)

4 アンケート実施期間

令和3年10月20日(水)から11月3日(水)までの15日間

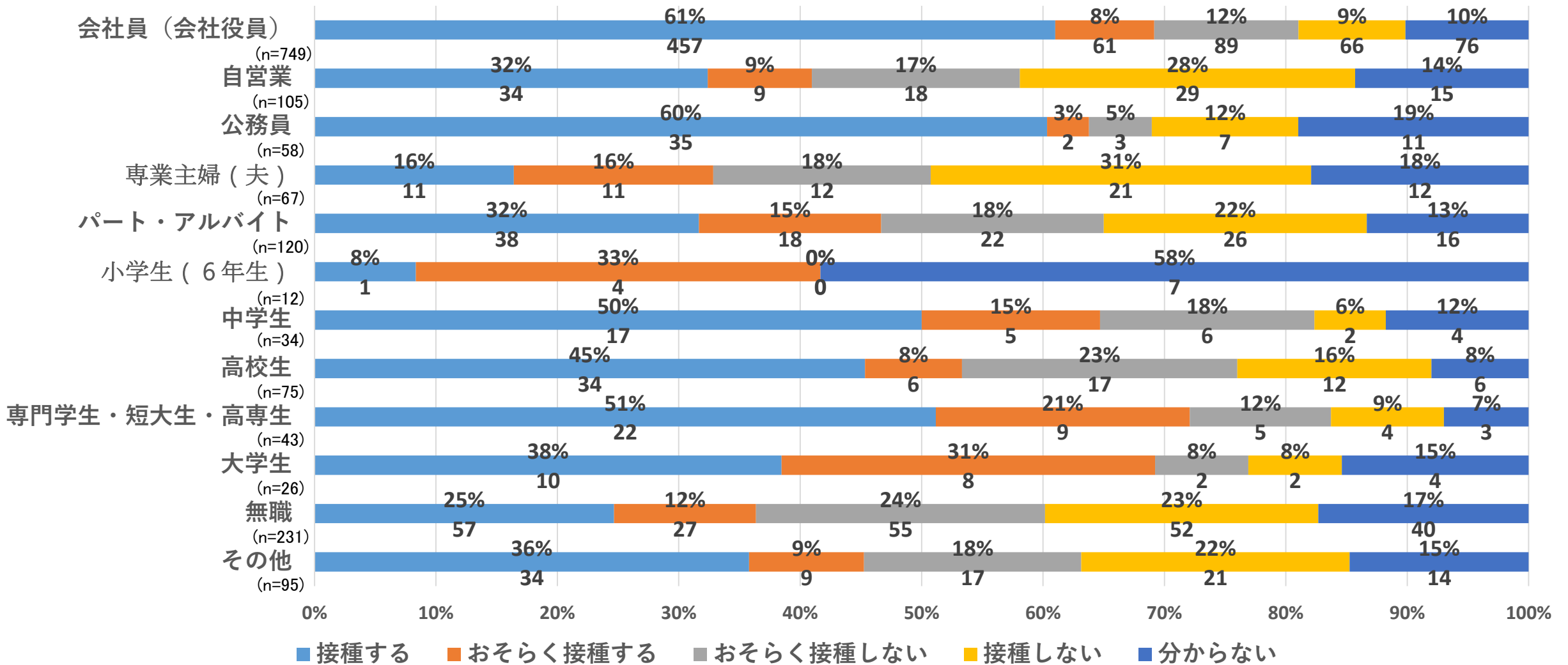
5 アンケート回答数 1,615件

【クロス分析】問1年齢 × 問2性別 × 問6接種の意向



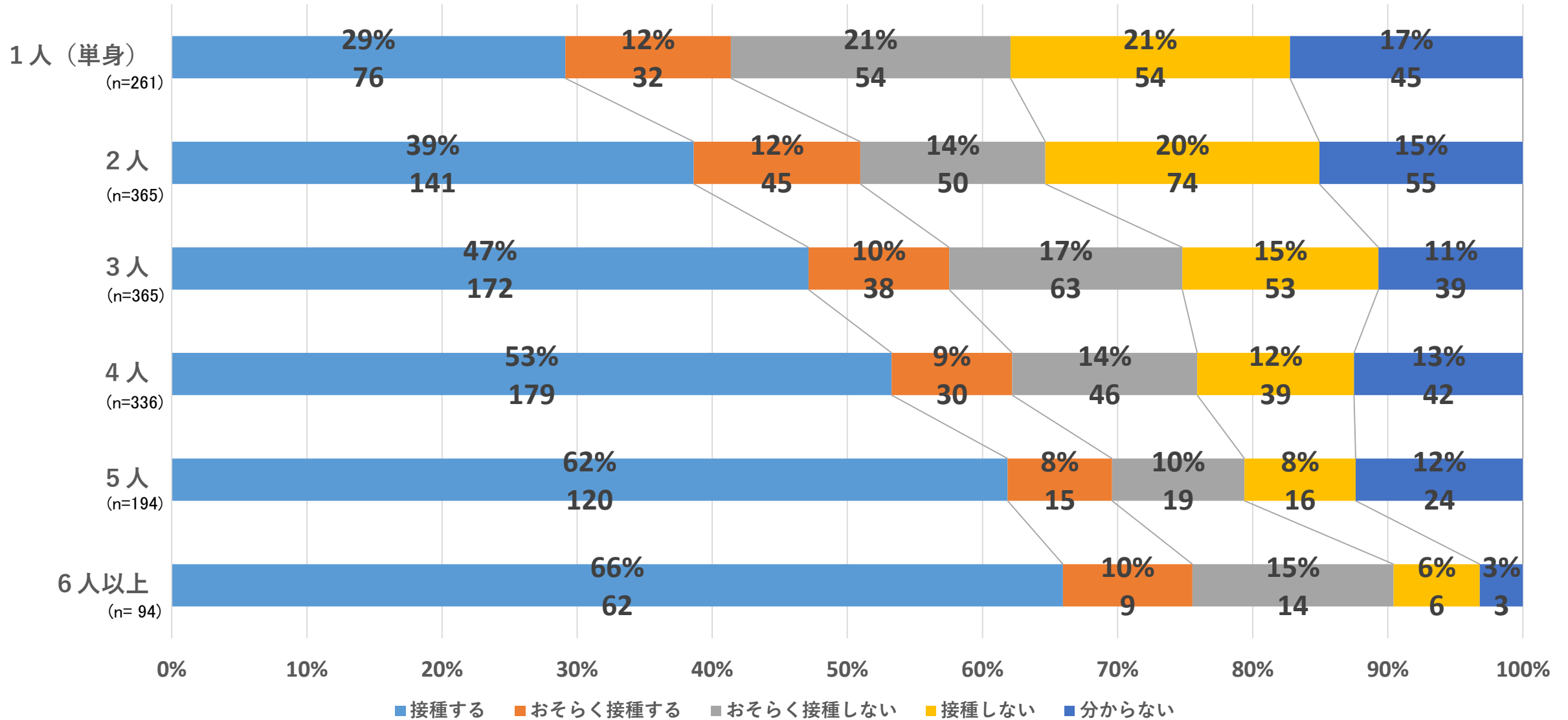
男性は各年代ともに(おそらく)接種すると回答した方が半数を占めたが、女性は10代、20代は(おそらく)接種すると回答した方が半数を占めているものの、年齢が高くなるにつれ接種を希望しない方の比率が高い。

【クロス分析】問4職業 × 問6接種の意向



会社員、公務員、学生等の**集団生活を伴う職業の方の方が(おそらく)接種すると回答する比率が高く、専業主婦(夫)や無職の方は接種の意向が低い傾向にある。**

【クロス分析】問5世帯の人数 × 問6接種の意向

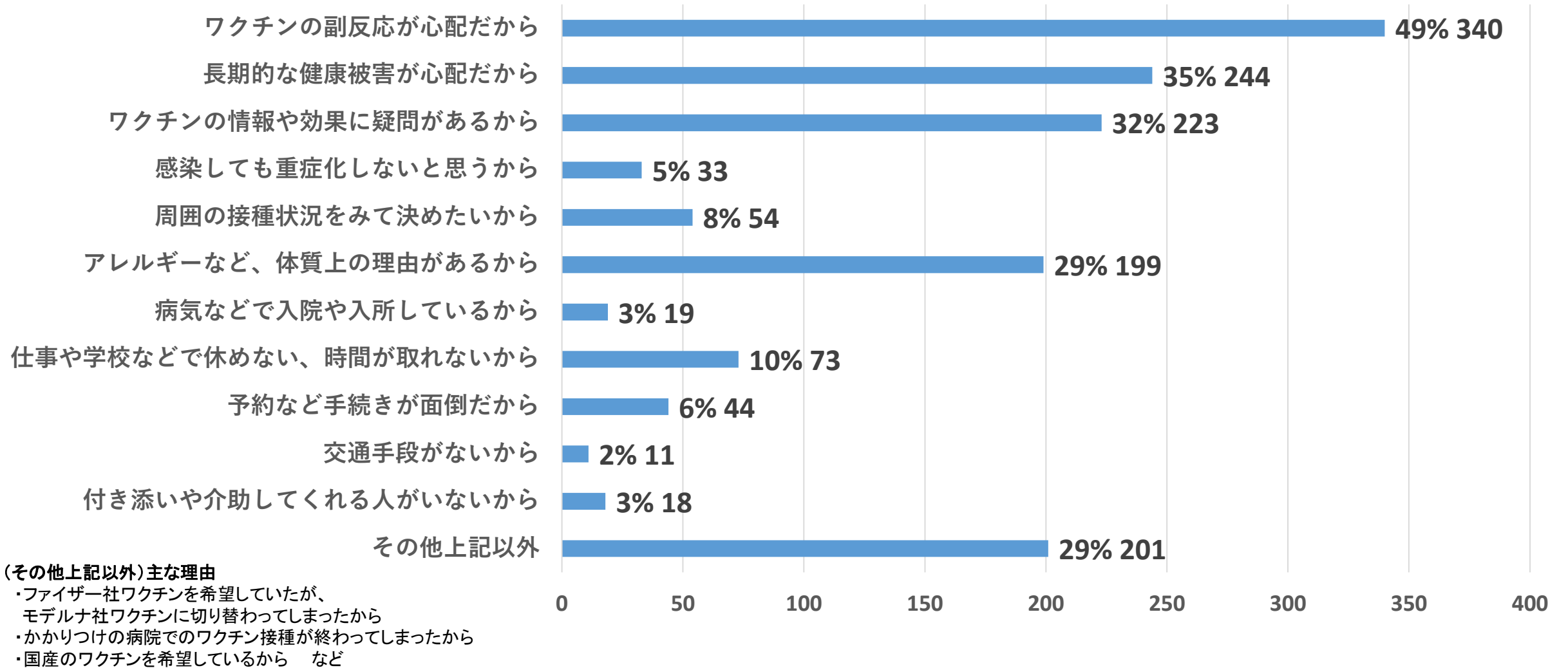


世帯人数が多いほど、(おそらく)接種すると回答する比率が高い。

問7 接種していない理由

%は回答数696件に対する比率

(問6接種の意向で「おそらく接種しない」・「接種しない」・「分からない」と答えた方のみ (回答数:696) **複数回答可**

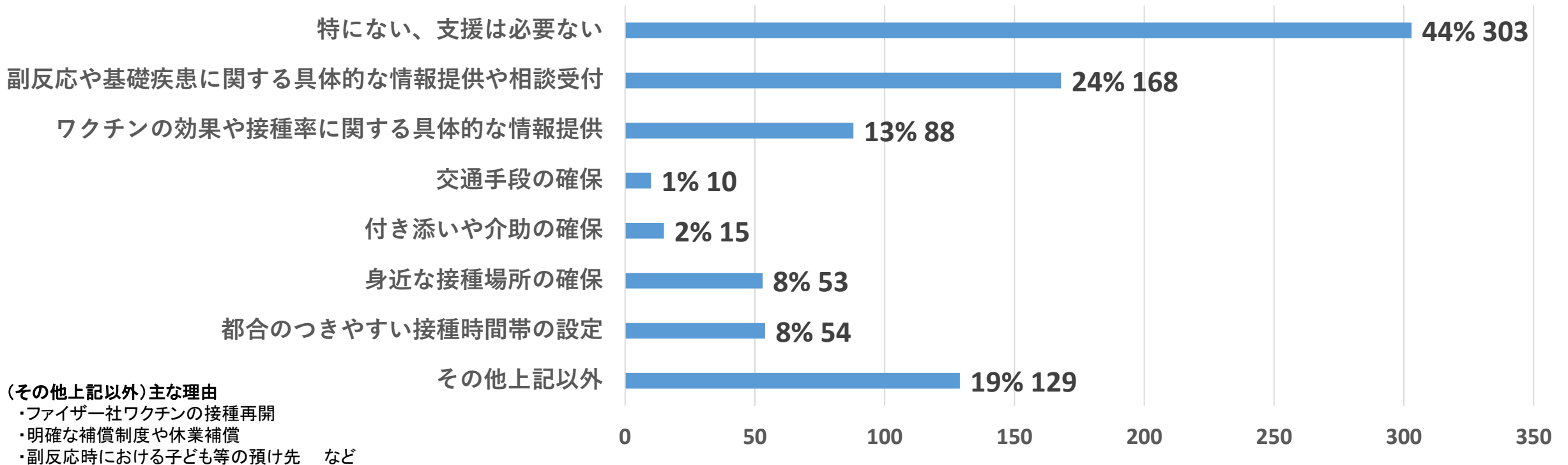


(おそらく)接種しない、接種するかどうか分からないと回答した方の接種しない理由として最も高いのは「副反応が心配だから」で、また、各年代ともに「ワクチンの情報や効果に疑問があるから」と回答する率が高い。

問8 希望する支援策

%は回答数696件に対する比率

(問6接種の意向で「おそらく接種しない」・「接種しない」・「分からない」と答えた方のみ (回答数:696) **複数回答可**



(おそらく)接種しない、接種するか分からないと回答した方共に希望する支援策として最も高いのは「副反応や基礎疾患に関する具体的な情報提供や相談受付」で、次に希望する支援策は「ワクチンの効果や接種率に関する具体的な情報提供」であった。

なお、接種会場までの交通手段の確保や付き添いや介助といった支援を希望する方は非常に少なかった。

【総括】

上記から、接種促進に寄与する支援策としては、ワクチンに関する正確な情報の発信、また、ワクチン接種を悩んでいる方への個別支援策である現行の未接種者相談窓口の延長と判断する。